

2014年度 公開シンポジウム

# 悪としての世界史 —三木亘の中東地域文化論—

【プログラム】

開会・趣旨説明

第一部 「三木先生のお仕事を振り返る」

- (1) 新井高子 (詩人, 埼玉大学准教授) 「声の史学に耳傾けて—『悪としての世界史』刊行の道行きとともに」
- (2) 三木 亘 (慶応義塾大学特選塾員)  
「私の世界史論, 中東地域論」

第二部 シンポジウム「三木史学をめぐる」

- (1) 家島彦一 (東京外国語大学名誉教授)  
「人間移動文化論を中心に」
- (2) 羽田 正 (東京大学教授) 「新しい世界史との関係を中心に」
- (3) 三木 亘 「発表への応答」  
モデレーター: 杉田英明 (東京大学教授)

質疑応答

閉会の辞

我が国における西アジア史および中東地域の研究を長く牽引してきた, 三木亘・慶応義塾大学特選塾員の研究成果とその意義を, 本人を交えたシンポジウムの形で回顧するとともに, 今後の中東地域および世界史の研究方法について展望する。

日時: 2014年4月20日 (日)  
13:30~17:30

会場: 東京大学駒場キャンパス  
21KOMCEE  
地下1階レクチャーホール

入場無料・参加申込不要

# 会場案内

キャンパス配置図 (2012. 4現在)  
**CAMPUSMAP** (as of April 2012)



● 自動体外式除細動器 (AED) 設置場所  
 Locations of an Automated External Defibrillator